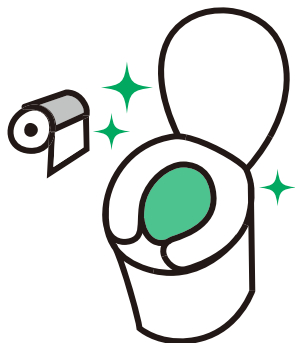


# 栲原学園だより 第33号



6月7日の土曜授業日に「高知掃除に学ぶ会」の方々の指導のもと、本学園の4年生と一緒にトイレの掃除を徹底的に行いました。

この取り組みは、高知県下の小中学校で実施され本学園で195回になるそうです。(大きな組織は、日本を美しくする会NPO法人で平成5年に発足しています。)

トイレ掃除をすることで学んでほしいことには、

- 1、謙虚な人になれること
- 2、気付く人になれること
- 3、感動の心を育むこと
- 4、感謝の心が芽生えること
- 5、心を磨くこと

の5つを挙げられています。



道具の説明をしてくださいました。



便器をスポンジでみがきます。



壁や鏡もきれいにみがきます。



床もたわしでこすってみがきます。

学園でもトイレ掃除については課題があり(隅々まで行き届いた掃除がでない)しつかり磨くという指導を4月から行っていますので今回の取り組みは栲原学園の子ども

たちにとっては貴重な体験になりました。隅々まで気配りのできる栲原人になれるといいですね。心より感謝しております。

## 子どもたちの感想

今日はトイレ掃除についてくわしく教えてくださりありがとうございました。

はじめはすぐきたなくて全然やりたくなかったけれどどんどんやっていくうちに掃除をやるのが楽しくなりました。

時間がかかったけれどかん気扇、洗面所、床、トイレをみがきました。

最初はきたなかつたけれどピカピカになってよかったなあと思いました。きたないところもさわりたいなかつたけれどさわれるようになりました。

いろいろな道具があるのを知ったし、ぞうきんで床をみかくことや、スポンジで便器の中をみかくこともはじめて知りました。そのほかにもたくさんのおどろきがありました。

次回も栲原学園にきてもらいたいと思います。



消毒をしてトイレ掃除終了です。

## 学力向上にむけての取り組み

栲原学園では、9年間の系統的な学びを保障するためにいくつかの取り組みを行っています。簡単に紹介します。

### ○土曜授業日

今年度より小学校は月に一回、中学校では学期に一回土曜授業を実施しています。

目的は、授業時間を確保し、教科等の学習においてもゆとりをもって取り組み、学力の向上を図ることです。小学校は、4月(1年生は5月)から実施しており、1校時は平常授業、2、3校時はチャレンジタイムとしてプリントやテキスト(アイテム)で学習内容の定着を図り、4校時は、仲間づくりの活動を行うという特別な時間を編成しています。中学校は、行事等で抜けた教科の授業を行うようにして学力向上に向けて取り組んでいます。

○自立ノート

全国学力・学習状況調査において学習習慣に課題が見られました。

そこで、一昨年度から家庭学習定着のため、梶原学園では、連絡帳に代わる【自立ノート】を全児童・生徒が活用しています。時間割や学用品の準備等に加えて家庭学習の内容や時間、日記（一日の振り返り）、保護者からの返信の項目もあり、家庭における学習の充実の強化を行い、自立した児童・生徒の育成を目指しています。



めあてが達成できたら表紙の色が変わる。(5年生以上)

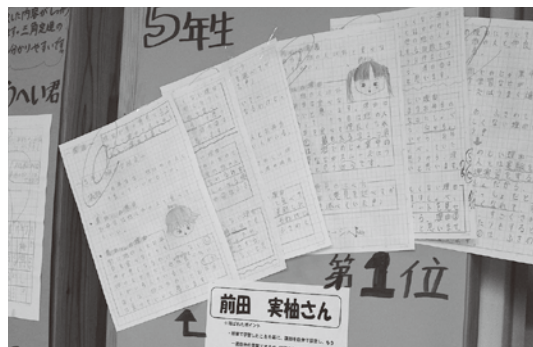
○自主学習コンクール

学期に一回の割合で全校一斉に自主学習コンクールを行っています。お互いのノートを見せ合い、全体で評価し合うことで



友達の評価もやる気につながります。

自主学習の質の向上を目指しています。今学期もすばらしい取り組みのノートが掲示されました。



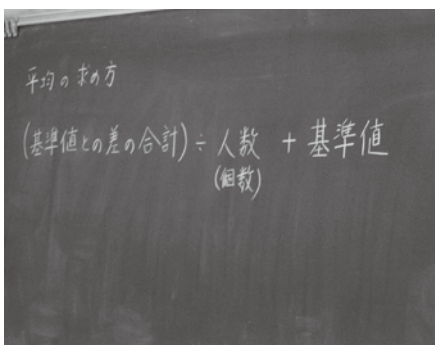
1日に6ページもやってくる児童もいます。



○さくさく視写

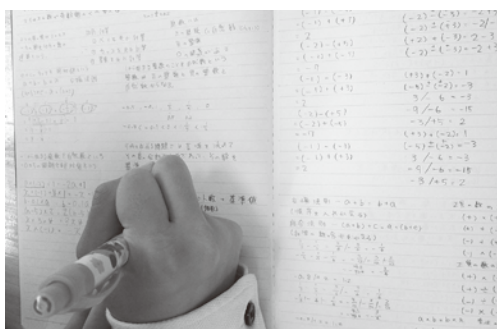
学園では、今年度から5年生から9年生の各授業の始業前の時間を活用して「さくさく視写」の取り組みを行っています。

この取り組みは学習規律徹底のため、授業開始2分前から席に着く習慣を付けること、授業に取りかかるウォーミングアップの時間とすること、文章を書



く力を付けることをねらいに4月より取り組んでいます。具体的な内容は、各教科で大事な学習用語など習得すべき事柄を視写するという活動です。

梶原学園では、今回紹介した他にもチャレンジタイムやチャレンジ塾（加力指導）、放課後の加力学習、中学校の先生方による小学校高学年への乗り入れ授業等、児童・生徒の学力向上を目指して、「知・徳・体・食」のバランスのとれた特色ある小中一貫教育を進めています。



7年生。平均の求め方のことばの式を視写し、確実な力にしています。